

愛知淑徳大学

〒464-8671 名古屋千種区桜が丘23 アドミッションセンター TEL 052-781-7084(直通) (HP) https://www.aasa.ac.jp/

TOPICS

●2026年4月、人間情報学部到新専攻を設置。

中学校教諭一種免許状(数学)・高等学校教諭一種免許状(数学・情報)の取得をめざす「数学・情報教員養成専攻*」を新たに開設します。

*2026年4月より3専攻制へ(仮称・構想中)



「違いを共に生きる」の理念のもと、次代を生き抜く力を育む

文学部 日本の古典文学、近・現代文学、国語学、中国文学を中心に学びます。文章表現力を鍛え、論理的な意見を組み立てる力を磨き、課題の発見から解決に至るまでを自分自身で導き出せる人材を育成します。

教育学部※1 ICTの活用、小学校での英語教育、児童・生徒の多様化など、教育現場の今日的課題に対応する科目が充実。社会環境と学校教育の変化に対応できる教員を養成します。“2年次からのゆるやかなコース制”が特色で、「英語教育」「特別支援教育」の3コースを設置。小・中・高・特別支援の4つの学校教諭一種免許状取得を、4年間めざすことができます。



人間情報学部 (感性工学専攻) 人の感性を重視し、人に寄り添ったIT系モノづくりについて学び、人に優しいコンテンツ制作・システム開発の担い手を育成します。**〈データサイエンス専攻〉** 人、情報、それぞれの分野を対象に、心理的・生理的な測定技術と統計に基づくデータ分析法について学び、“人”を理解する能力と、モノやサービスを評価するためのデータ分析能力を身につけた人材を育成します。

〈数学・情報教員養成専攻※2〉 数学や情報の知識を深めて積極的にICT教育を提供する力を磨き、情報社会における先進的な学習教育に貢献できる人材を育成します。

心理学部 人の心をさまざまな角度から捉えるため、「生理・認知」「社会」「発達」「臨床」の心理学主要4領域をコースを分けて学びます。実験などを含めた心理学の研究方法は専任教員が基礎から指導。研究内容の難易度を上げて繰り返し実施する過程で論理的思考力など

大学院

【博士課程】文化創造研究科/文化創造専攻
心理医療科学研究科/心理医療科学専攻
グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科
グローバルカルチャー・コミュニケーション専攻
ビジネス研究科/ビジネス専攻
【修士課程】教育学研究科/発達教育専攻
健康栄養科学研究科/健康栄養科学専攻

資料請求



請求ハガキ	巻末ハガキ
料金	無料
完成時期	5月下旬

■学部・学科・専攻 定員

(長久手キャンパス)

- 文学部 国文学科95
- 教育学部※1 教育学科140
- 人間情報学部 人間情報学科(感性工学専攻115、データサイエンス専攻65、数学・情報教員養成専攻20※2)
- 心理学部 心理学科180
- 創造表現学部 創造表現学科(創作表現専攻95、メディアプロデュース専攻130)
- 建築学部※1 建築学科(建築・まちづくり専攻70、住居・インテリアデザイン専攻60)

●健康医療科学部 医療貢献学科(言語聴覚学専攻40、視覚科学専攻40、理学療法学専攻40、臨床検査学専攻40) / スポーツ・健康医科学科(スポーツ・健康科学専攻100、救急救命学専攻30)

- 食健康科学部 健康栄養学科80 / 食創造科学科120
- 福祉貢献学部 福祉貢献学科(社会福祉専攻70、子ども福祉専攻50)

(星が丘キャンパス)

- 交流文化学部 交流文化学科(ランゲージ専攻120、国際交流・観光専攻140)
- ビジネス学部 ビジネス学科230
- グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科80

※1 2025年4月開設

※2 2026年4月より3専攻制へ(仮称・構想中)

実社会で生かせる力を身につけます。大学院との連携で、公認心理師や臨床心理士への道も開かれています。

創造表現学部 (創作表現専攻) 理論と実践の両面から“表現”を学び、発想力、描写力、独創性を身につけます。経験豊富な専門家がオリジナリティあふれる授業を展開。一人ひとりの個性が発揮できるよう指導します。**〈メディアプロデュース専攻〉** デジタル化に伴って多様化が進むメディアの特性を理解し、社会に対し適切な情報発信ができる人材を育成。メディアを活用した豊かな発想力・表現力・戦略的企画力、映像やデザイン等の制作を通して社会の問題に関わる実践力を磨きます。

建築学部※1 (建築・まちづくり専攻) 建築やまちづくりを専門的に学修。建築物の構造、材料・構法、環境・設備、意匠に加え、都市景観、歴史・文化、計画などを理解し、実験・実習を重ねて建築を総合的に学び深めます。一級建築士の資格取得をめざすことができます。

〈住居・インテリアデザイン専攻〉 機能的でデザイン性

の高い住環境の計画や設計を、実務を見据えて専門的に学修。インテリアプランナーやインテリアコーディネーターなどの資格取得をめざし、建築学に関する科目や、家具や照明器具などの制作を学びます。

健康医療科学部 (医療貢献学科 言語聴覚学専攻) 優しさや強さを備え、ことばや聴こえの障害を的確に理解して改善を図ることのできる言語聴覚士を養成します。**〈医療貢献学科 視覚科学専攻〉** 眼や見え方に関する検査・評価技術や視覚障がいのある方を支援する対応力に加え、科学的思考力を備えた視能訓練士を養成します。**〈医療貢献学科 理学療法学専攻〉** 小児から成人・高齢者まですべての世代に対応できるリハビリテーション専門職として地域に貢献できる理学療法士を養成します。小児理学療法に重点を置いた教育が特色です。

〈医療貢献学科 臨床検査学専攻〉 最先端の臨床検査技術・知識と多職種連携能力を備え、高度先進医療や地域医療へのニーズに応える臨床検査技師を養成します。

〈スポーツ・健康医科学科 スポーツ・健康科学専攻〉 臨床医学、基礎医学、体育学、スポーツ科学、栄養学など健康科学に関する学問分野を多面的に学修。ヘルスプロモーションをスポーツ・身体活動の面から推進し、人生100年時代の生涯健康に貢献できる人材を育成します。

〈スポーツ・健康医科学科 救急救命学専攻〉 最新機器や救急の現場を模した設備を活用し、現場経験豊富な教員の指導のもと、少人数制教育を展開。救急救命の専門知識と実践力を修得します。

食健康科学部 (健康栄養学科) 食と栄養に関する幅広い知識と高度な実践能力を備え、生涯にわたる健康の維持・増進に貢献する管理栄養士を育成します。

〈食創造科学科〉 食品や調理、健康と栄養、世界の食文化、新たな食の創造など、分析から食品開発まで実践的に学び、食文化や健康社会に貢献できる人材を育成します。

福祉貢献学部 (社会福祉専攻) 日常生活に課題を抱えた人々が、自らの生命や生活に関して自分自身で決定できる道を拓き、違いを共に生きられる社会の創造に取り組むことができる社会福祉士、精神保健福祉士をはじめ、地域に貢献できる人材を育成します。

〈子ども福祉専攻〉 保育の現状に即した人材育成にとどまらず、今後の保育の進むべき道を考えてから、子どもたちの幸せをめざすことができる人材を育てます。保育士資格・幼稚園教諭一種免許状が取得できます。

交流文化学部 (ランゲージ専攻) 英語、中国語、韓国語・朝鮮語のスキルアップと文化を学ぶ専攻プログラムのほ

か、日本語教師を養成するための「日本語教育」を加えた4専攻プログラムを用意。異文化への理解を深めると共に実践的な言語活用能力を養います。

〈国際交流・観光専攻〉 国内外で起こるさまざまな事象を多方面から捉え、社会の発展に寄与する実践力・行動力を高めます。国際交流と観光を専門的に学ぶ4つの専攻プログラムで構成。異文化交流や観光におけるホスピタリティや企画、政策などについて知識を修得します。

ビジネス学部 「経営学・商学・会計学・経済学」を横断的・複合的に学び、ビジネスの現場で生きる知識やスキルを理論と実践の両面から修得します。業種・職種を問わず多様な進路で活躍するための基礎を養成する科目群や、「シゴト」で優れた成果を残すために必要な科目群を高める科目群等を設置。ワーク形式を積極的に導入することで社会に一步前に踏み出す力を磨き、知力・行動力の両面において即戦力となるビジネスパーソンをめざします。

グローバル・コミュニケーション学部 日本語を使わない「All English」の環境で学ぶ専門科目と、全員が参加する海外留学(6~10週間)によって、変化し続ける国際社会で求められる、幅広い国際教養と高度な英語コミュニケーション能力を備えた、人、地域、世界の架け橋となる人材を育成します。2年次より興味・関心や問題意識に合わせて、「異文化コミュニケーションコース」と「国際日本学コース」に分かれます。

卒業後の進路

キャリアサポート 学生一人ひとりが自立心を身につけることができるように、「キャリア教育」と「キャリア支援」の両輪からアプローチします。「キャリア教育」ではインターシップを中心に職業イメージをつかみ、社会人としての実践力を養います。「キャリア支援」では、就職を見据えた活動としてキャリアアドバイザーによる個人面談、ガイダンス、学内企業説明会、保護者向け就職セミナーなどを実施します。

2023年度卒業生の主な就職先 あいちフィナンシャルグループ、ジェイアール東海高島屋、住友電気工業、積水ハウス、トヨタ自動車、豊田自動織機、名古屋銀行、日本航空、日本通運、日本年金機構、富士ソフト、藤田医科大学大学院、八神製作所、山崎製パン、ヤマハ発動機、愛知県警察本部、愛知県教育委員会、愛知県庁、名古屋市教育委員会、名古屋市役所、名古屋市消防局など

学びの特色

学部・学科ごとに高度な専門性を身につける「専門教育」と、実社会で役立つスキル・資格や教養を身につける「全学共通教育」の2つの柱からなる独自の学びのシステムを実践しています。さらに全学必修科目として「基幹科目」を開設。一人ひとりの意欲に応える学びの環境が充実しています。●基幹科目/大学の理念を学び、自分のあるべき姿を見つめ、自分らしく生きるための方向性を見出す「違いを共に生きる・ライフデザイン」、日本語による表現技術の基礎を定着させ、応用力を養う「日本語表現1」の2科目を開設。●全学共通教育/ボランティアやインターシップ、留学を通して、生きた学びにふれるアクティブラーニング科目をはじめ、言語活用科目やコンピュータ活用科目なども開設。実社会で即戦力となるスキルを磨きながら、豊かな人間性を養うことができます。

資料請求方法：巻末ページの「パンフレット一括請求」をご覧ください。